全体	No.５９
個別	012-01

平成２６年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	総務課（消防団）

No.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	安全で質の高い住環境の整備
	項　　目	地区消防団の統合及び車両の適正配置の推進	
	内　　容	消防団員の減少に伴い、地域の若者、女性、地方公務員の入団促進、消防団協力事業所表示制度を活用し増員を図るとともに、消防団活動に支障をきたす分団及び単独分団は隣接分団との統合を早急に進め、部制を敷くと共に地区消防団のブッロク化を行い、地域に適応した分団及び車両を配置し的確な消防団活動が行われるよう、消防団組織等改革推進委員会で協議します。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 平成２６年４月１日現在の分団数６１分団を５５分団とします。分団間の距離、受持区域、団員数を勘案し、分団の効率的な活動のための分団統合を進め、併せて車両の適正配置計画を作成します。 消防団員の処遇の改善、安全確保装備・情報通信資機材・活動用資機材等の導入に向けて協議します。 【達成年度】 平成２７年度を対馬市消防団分団統合及び車両適正配置計画作成の最終年度とします。	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
消防団組織等改革推進委員会								○				○
統合に向けた協議（地区本部・分団・地区）	←											→

全体	№６０
個別	012-02

平成２６年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	警　　防　　課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	快適な暮らしを支える生活基盤の整った人とまち
		施　　策	安全で質の高い住環境と整備
	項　　目	応急手当の普及啓発活動	
	内　　容	生命に関わる重大な不整脈が『突然死』の大きな原因と言われています。これを防ぐ唯一の方法が、ＡＥＤによる「除細動」です。 昨年は、市民一人が「除細動」により社会復帰できた事案もありました。「自分の家族は自分で守る」を訴えていきます。 ＡＥＤの使用方法について、受講者の増員を推進することが重要な課題であり、本年もＣＡＴＶ、市報等メディアを介して広報の実施を行います。併せて、毎週土曜日の来庁受講者対象及び各施設や事業所更に地域へ出向いて救急法の指導を実施します。普通救命講習受講時間の負担を軽減するため、市のホームページにe-ラーニングを設け１時間の事前講習が修了できるシステムを導入します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 受講者数は、目標数値には達していませんが、３年前の「東日本大震災」で大きく落ち込んだ受講者も微増傾向にあります。 消防署から遠隔地に設置事業を進めているＡＥＤ設置区民を対象に再度その効果や重要性を訴えて、受講機会を働きかけることにより、これまで以上の普通救命講習及び救急法の指導推進に努め、併せて、ＢＬＳ普及会と協力しながら目標受講者数２，５００名の達成をめざします。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２７年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	救命講習等	←											→

全体	№６１
個別	012-03

平成２６年度［対馬市消防本部］　組織目標

課　名	予　　防　　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	住宅用火災警報器設置促進及び屋外イベント会場等における火災予防の推進	
	内　　容	１　住宅用火災警報器設置促進のため、建物（住宅）火災発生直後の設置指導及び火災予防運動や広報等を通して設置促進を図ります。 ２　多数の者が集合する祭りや花火大会等の催し開催時に出店される露店への立入検査を実施し火災予防の推進を図ります。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 １　住宅用火災警報器設置率低迷地区を重点的に指導することにより、全地区５０％以上の設置を目指します。 ２　市内１５カ所で開催される祭りや花火大会等において、出店される露店（およそ１８５店）の立入検査を実施し屋外イベント会場における消火器の準備、安心・安全の計画の指導等火災予防の推進を図ります。 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２７年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
住宅用火災警報器設置促進	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
屋外イベント会場等における火災予防の推進			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔